

シルバースター・エレメンタリー (公立のキンダーガーデンクラス)

お話し：トレーシー校長先生
レポート：小野夏絵

★見学

- ① 幼稚園のクラスは2クラス（1クラスはモンテソーリ、1クラスは通常クラス）
- ② もう1クラス、モンテソーリの1年生から3年生クラスを見学

★学校の紹介

シルバースター・エレメンタリースクールはキンダーガーデンから7年生まで460名が在籍する公立の小学校でバーノン市内では2番目に大きな学校です。うち、60名がキンダーガーデン生で3クラスに分かれて学校生活を送っています。モンテソーリを取り入れたクラス、遊びを中心にしながら学ぶクラス、アカデミックを得意とするクラスから成り、それぞれの生徒の個性を生かしたクラス編成となっています。キンダーガーデンのカリキュラムはBC州のMinistry of Education（教育省）の監督のもと構築されています。

★プログラムのガイドライン

- ・ 毎日の身体活動
- ・ 英語（ことばの発達）
- ・ 芸術教育
 - ダンス
 - ドラマ（演劇）
 - 音楽
 - ビジュアルアート
- ・ 健康とキャリア（将来設計）の教育
- ・ 算数
- ・ 体育

- ・ 理科
- ・ 社会



★時間割

- 08:25始業
- 08:30授業開始
- 10:10中休み/おやつ
- 10:25授業開始
- 12:03昼休み/ランチと外遊び
- 12:40昼休み終了
- 12:50授業開始5分前
- 12:55授業開始
- 14:30終業
- 14:34下校/スクールバス

★A. 通常クラスでは

今回はおやつタイムとサイエンスの授業を見学させていただきました。

- ① 【おやつタイム】カナダでは必ずおやつタイム（栄養補給）がありま

す。それぞれの家から持って来ているので、果物の子どもやお菓子の子どものと様々なおやつを食べていました。おやつタイムは友だちと話しをする時間に行っているとのことでした。

- ② 【サイエンスの話し合い】 おやつ時間を知らせ、次やることを伝えると、おやつが終わった子どもから座って集まっています。全員が集まるとサイエンスの本を見せて話し合いがはじまりました。
- ③ 木にはどんなものがある？の問いかけに、子どもたちが次から次へと意見を出していき先生がうまくまとめていました。

★B. モンテソーリのクラス

(ここの担任はモンテソーリを学んでいない先生)

※学校が建設される時、別途でつくることになっている幼稚園を見学今回は算数の時間を見学させていただきました。

*子どもたちのペースで、やりたいものを下記から選びやりたいことをしていました。

- ① カードを使うもの
- ② 図形を使うもの
- ③ 積み木を使うもの
- ④ くまのルーレットを使うもの
- ⑤ ひも（モールのようなもの）をつかうもの

→はじめはひもで数字を作っていたが、やっていく中で形になってきたので、その形はひもをいくつ使ってできているのかを問いかけ数に触れ遊んでいました。やりたいことをやりたいようにやらせて、数に触れていました。

※小学校に行く時に親がモンテソーリか通常クラスかを選び決めているとのことでした。



<モンテソーリクラス>

★C. モンテソーリの1年生から 3年生のクラス

- ・1年生から3年生まで同じ先生が教えていました。
 - ・モンテソーリを学んでいる先生が担任〈見学に行くと・・・〉
- ① 2人の子どもが挨拶をしてくれて、部屋を紹介してくれました。
 - ② 部屋の中には、動物をたくさん飼っていて、子どもたちは1匹ずつ紹介してくれました。(うずら・あひる・とかげ・さかな)
 - ③ 動物を飼っている目的動物を育てて行く中で
 - (1)動物を大切にする。
 - (2)自分の責任をまっとうする。
 - (3)動物を知る。
 - (4)自分で自分の鳥を育てているという誇りを持たせたい。
 - ⑤モンテソーリでは、訪問者が来たら挨拶、紹介すると決まっています。
 - ⑥使うものは、道具箱のようなものに入っていて、みんなで使います。
 - ⑦1つの科目だけではなく
 - (1)書き方の勉強

(2)数字の勉強

(3)地理の勉強

(4)サイエンスの勉強

※生徒に選択権があります。自分のやりたいものをやります。

※クラスの決まり(1)尊敬と誠実(2)地球・環境を大切にする。

※子どもたちに選択権があるため、全然数学をやらない子にはどうしてるんですか？と質問すると→ここまでというラインがあります。そこで先生は見ていてずっと同じことをしていたら、今日は「こっちをやってみたら？」と促してあげているとのことでした。

※4年生からは、それぞれのクラスに入っていきます。

★感想

集中して話を聞き、子どもたちに意見を言わせながらうまくまとめていました。先生は一人ひとりの意見を言えるように声のかけ方等にも気をつけていると感じた。リーダーの先生だけではなく、サブの先生もリーダーの先生がやりやすいように、声をかけずに落ち着かない子の側に行き、落ち着けるようにしていました。先生たちの力量を感じることができました。自然がたくさんあるのにサイエンスの授業を大切にしているのは、どうして？と質問すると、自然がたくさんあるからこそ、あまり知らないことがあるのだ。と言うことでした。



<トレーシー先生を囲んで>